

特殊詐欺の被害防ぐ

関信金と
岐阜信金 2支店に感謝状

岐阜北署

特殊詐欺を未然に防いだとして、岐阜北署は19日、関信用金庫三輪支店(岐阜市太郎丸新屋敷)と同支店職員の安江奏さん(27)、岐阜信用金庫三田洞支店(同市三田洞)と同支店職員の児玉美奈子さん(55)に感謝状を贈った。

関信金三輪支店では7月2日、孫を名乗る人物から電話で金銭を求められた80代の女性が、自身の定期預金から200万円を引き出すと来店。岐阜信金三田

洞支店には同14日、マッチングアプリで女性からネットショッピング経営を持ちかけられた70代の男性が来店し、商品代金としてATMで約11万円を振り込もうとした。

それぞれ対応した安江さんと児玉さんは目的などを聞いて不審に思い、上司に相談。その後通報し、特殊詐欺被害を未然に防いだ。同署で感謝状の贈呈式があり、安江さんと児玉さん、関信金三輪支店長代理の齋



藤綾乃さん(49)、岐阜信金三田洞支店長の青山正宗さん(右から2人目)、青山正宗さん(同3人目)、安江奏さん(同4人目)、齋藤綾乃さん(左端)＝岐阜北署

藤綾乃さん(48)が受け取った。安江さんは「詐欺は身近でも起きると実感した」、児玉さんは「お客さまの財産を守れてよかった」などと話した。

林敏樹署長は「両支店と個人の意識の高さがあったから被害を防げた。本当にありがたい」と述べた。

(棚橋滉斗)